

# 第2期曾於市自殺対策計画

令和7年度▶令和11年度

(概要版)



令和7年3月

曾於市

## 計画の概要

### 1 策定の趣旨

本市においては、令和元年度に「曾於市自殺対策計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない曾於市を目指して」を基本理念に掲げ、総合的な自殺対策を推進してきました。

本市の自殺者数は、令和3年を除き毎年10人を超えており、依然として深刻な状況が続いています。

国は令和4年10月に「自殺総合対策大綱」を見直し、新型コロナウイルス感染症拡大等を背景とした社会情勢の変化や近年の自殺の状況を踏まえて、今後5年間に取り組むべき施策を新たに位置づけ、自殺対策の一層の推進を図ることとしています。

こうした社会環境の変化や新たな課題等に対応するとともに、これまでの取組をさらに充実・発展させるため、次期計画として「第2期曾於市自殺対策計画」を策定しました。

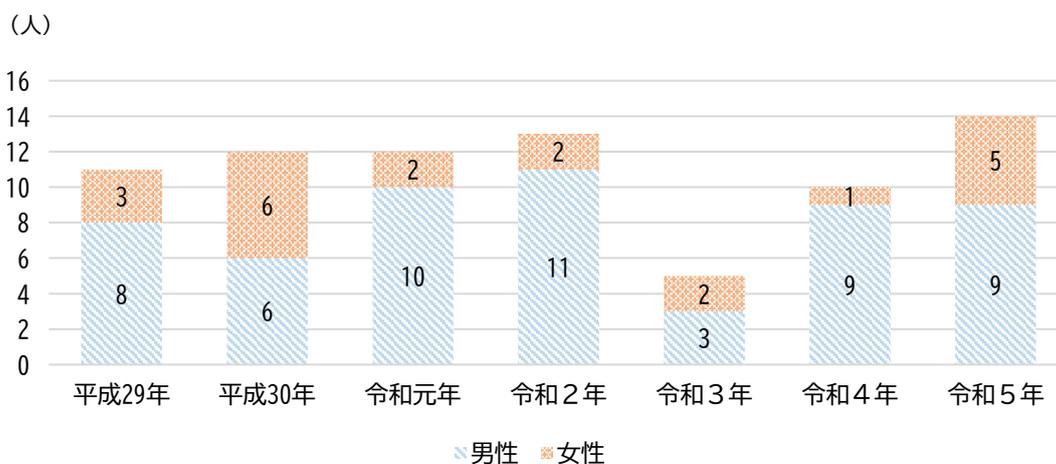
### 2 計画の期間

本計画の計画期間は、計画の進捗や国の動向、社会情勢等の変化等に対応するため、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

## 曾於市における自殺者数の推移

本市の自殺者数は、令和3年に減少しましたが、その後は増加傾向となっています。性別で見ると「男性」が多くなっています。

【図表 自殺者数の推移（平成29年～令和5年）】



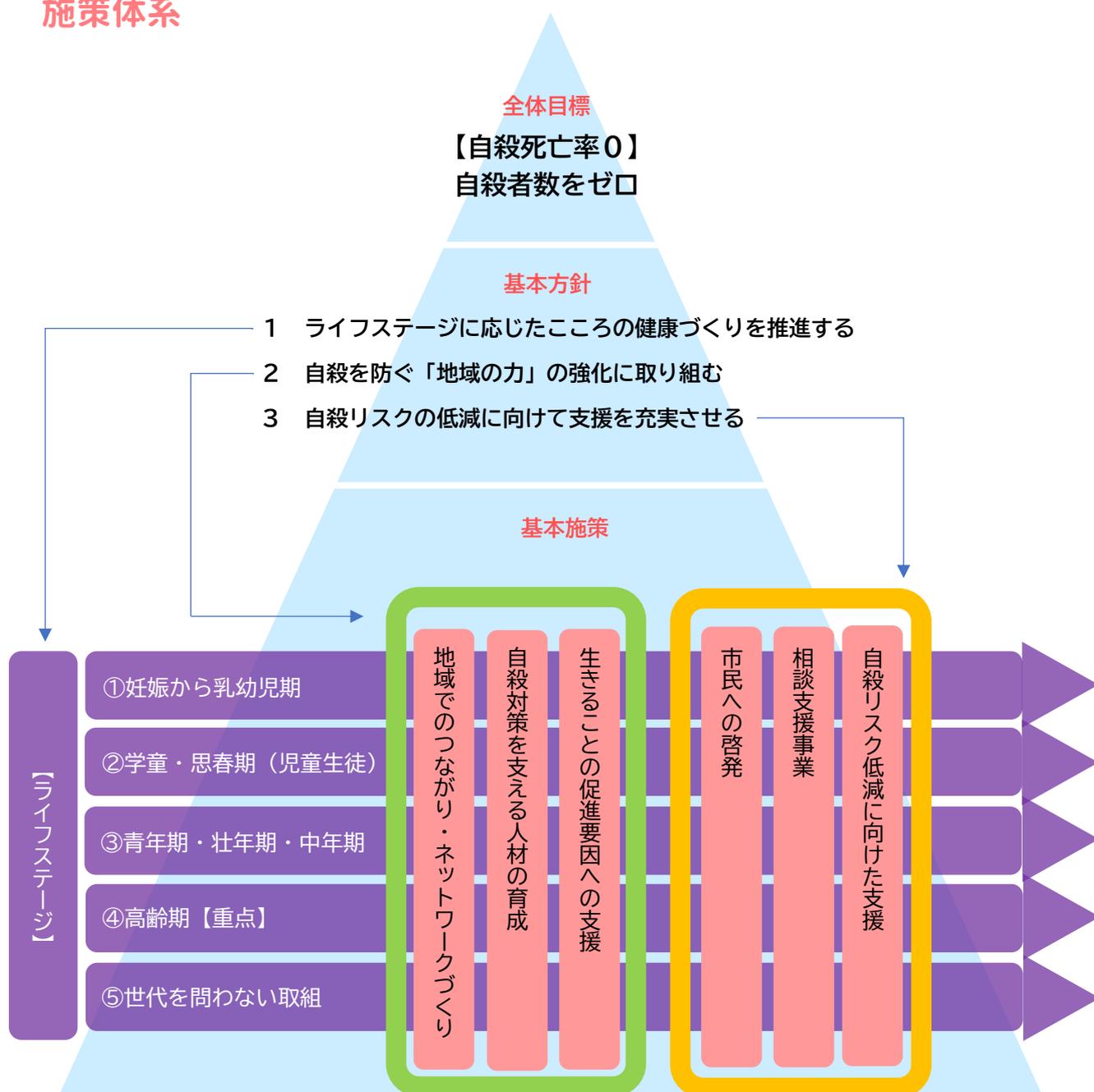
## 基本理念

本市では、総合振興計画において「豊かな自然の中で みんなが創る 笑顔輝く元気なまち」を基本理念に掲げ、「市民のこころ安らぐまちづくり」の基本方向のもと、こころの健康対策を推進しています。

本市として「生きるこころの包括的な支援」を進めていくため、これまでの基本理念を継承し、以下のように定めます。

誰も自殺に追い込まれることのない曾於市を目指して

## 施策体系

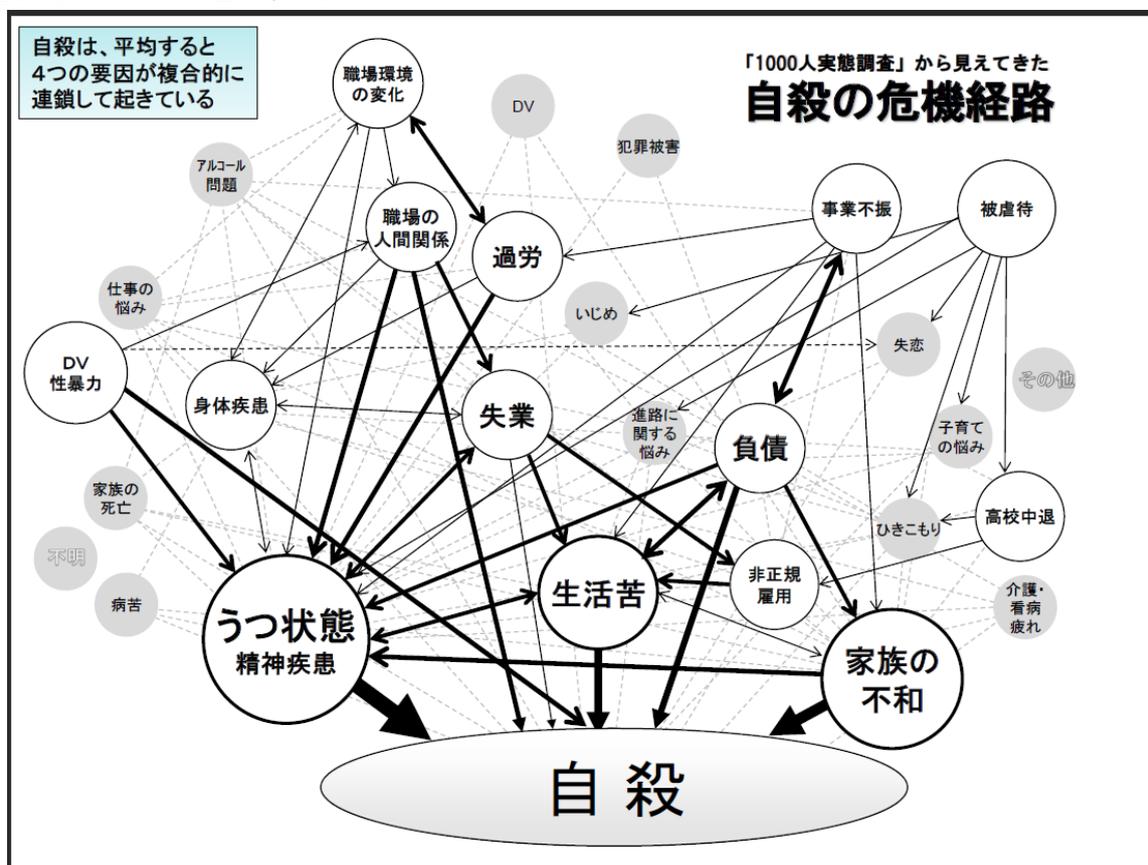


### 【参考】自殺の危機経路

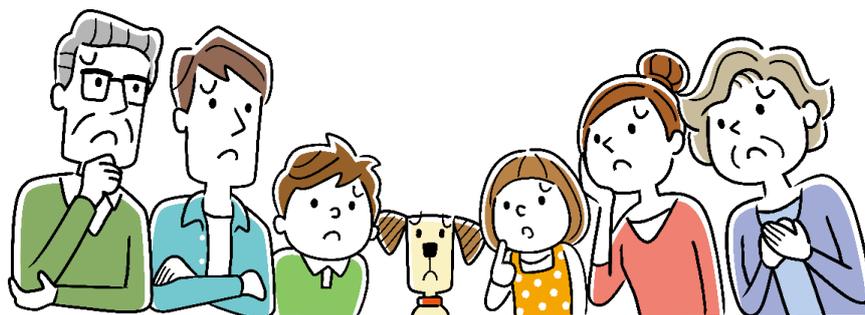
下記の図は、NPO 法人自殺対策支援センターライフリンクが行った自殺の実態調査から見てきた「自殺の危機経路（自殺に至るプロセス）」です。丸（○）の大きさは要因の発生頻度を表し、大きいほどその要因が抱えられていた頻度が高いことを示しています。また矢印の太さは、要因と要因の連鎖の因果関係の強さを表し、太いほど因果関係が強いことを示しています。

この図から自殺の直接的な要因に「うつ病」が示されていますが、「うつ病」になるまでには複数の要因が関係しており、同調査では、自殺で亡くなった人は「平均4つの要因」を抱えていたと示されています。

### 【参考】自殺の危機経路



（資料：「自殺実態白書 2013」）



# 1 ライフステージに応じたところの健康づくりの推進

## (1) 妊娠から乳幼児期に向けた取組

核家族化が進み、地域のつながりも希薄になる中で、孤独感や不安感を抱える妊婦・子育て世帯も少なくないため、妊娠期から出産・子育てまで身近で相談に応じ、ニーズに応じて必要な支援につなげる伴走型支援を行っています。



- 母子健康手帳交付時相談 ●妊婦健診 ●産婦健診 ●産後ケア ●乳児家庭全戸訪問
- 乳幼児健診 ●乳幼児相談 ●未熟児養育医療給付 ●子ども医療費助成 等

## (2) 学童・思春期（児童生徒）に向けた取組

命の大切さ、社会において直面する様々な困難への対処方法、及びこころの健康との向き合い方等に関する教育を推進します。



- いじめ・不登校への取組 ●スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー ●教育相談
- 命を大切にする教育の推進 ●児童生徒のSOS の出し方に関する教育の推進
- ヤングケアラーへの支援

## (3) 青年期・壮年期・中年期に向けた取組

悩みに対して早期に対応することが必要なため、適切な相談先につながるよう関係機関が連携し支援していきます。

働き方や休養のとり方について啓発を行い、こころの健康についての関心を高めます。



- 相談窓口の周知 ●学校職員のストレスチェック ●多忙解消のための業務改善
- 働く世代の健康づくり ●40歳未満健康診査 ●特定健診・特定保健指導・結果報告会

## (4) 高齢期に向けた取組【重点】

本市はコロナ禍を含む平成29年から令和5年までの自殺者数のうち、60歳代以上が7割を超えています。

孤立することなく、住みなれた地域で生活していけるよう、高齢者支援の充実を図るとともに、高齢者の家族等の支援者に対する支援も含めて関係機関で連携し、地域包括ケアシステムの深化・推進や地域共生社会の実現等の施策と連動した取組を推進します。



- 高齢者の生きがいづくり ●介護予防体操教室 ●ふれあい・いきいきサロン事業
- 茶飲み場、ほっとひといきタイム ●認知症カフェ ●高齢者の保健事業と介護予防の一体的な推進
- 地域介護予防活動支援事業 ●高齢者実態把握 ●地域包括支援センターの運営
- ささえあいネットワーク事業 ●高齢者見守り対策事業 ●介護認定申請、介護給付に関する事務
- 長寿クラブ活動の支援

## 2 自殺を防ぐ「地域の力」の強化

### (1) 地域でのつながり・ネットワークづくり

総合的かつ効果的な対策を推進するために関係課で自殺に関する情報や課題を共有し、関係性の構築と自殺対策への理解が深まるよう推進します。

- 自殺予防対策協議会 ●専門職による相談支援体制の整備 ●民生児童委員・主任児童委員活動
- 児童虐待防止ネットワークによる見守り ●適応指導教室指導員配置事業
- 救急医療・夜間急病センター ●24時間健康・医療相談サービス ●食生活改善推進員養成講座
- 食生活改善推進員活動 ●健康づくり推進活動 ●心が元気になる相談室 等

### (2) 自殺対策を支える人材の育成

地域において、悩みや困難を抱える方に対して、早期に気づき、支援につなげるなど、適切な対応ができる人材を育成します。



- ゲートキーパー養成研修会 ●認知症サポーター養成事業 ●認定サポーター養成事業
- 市職員によるハイリスク者の早期発見体制の整備

### (3) 生きることの促進要因への支援

本市に暮らすすべての人が自分の居場所や人とのつながりを持つことができる場づくりを推進します。

- 子育て支援センター ●介護予防体操教室の推進【再掲】 ●ふれあい・いきいきサロン事業【再掲】
- 茶飲み場、ほっとひといきタイム【再掲】 ●高齢者の保健事業と介護予防の一体的な推進【再掲】

### 3 自殺リスクの低減に向けた支援の充実



#### (1) 市民への啓発

自殺予防に関する正しい知識や相談窓口情報等の普及、自殺対策に関する理解を広げるために、広報紙等を活用した啓発活動を図ります。

- 自殺予防週間・自殺対策強化月間
- インターネットを活用した普及啓発
- こころの健康づくり講演会
- 地域保健活動

#### (2) 相談支援事業

それぞれの相談機関が相談者の問題解決に努めるとともに、解決が難しい場合は適切な機関につなげます。

- 総合相談支援業務(包括的支援事業)
- 妊婦等包括相談支援事業
- 相談窓口の周知【再掲】
- 民生児童委員・主任児童委員活動【再掲】
- 市職員の健康管理とメンタルヘルス対策
- 女性相談窓口
- ひとり親家庭への支援
- 消費生活相談
- DV等の被害者への支援
- 精神保健相談及び訪問指導
- 重複・頻回受診者・多剤服用者訪問指導

#### (3) 自殺リスク低減に向けた支援

医療と地域の連携推進による包括的な未遂者支援や精神科等との連携体制の強化を行います。

- 要保護児童対策地域協議会の充実
- 障がい児等保育の充実
- 経済的援助の充実(未就学児)
- 経済的援助の充実(児童生徒)
- 自立支援医療費(精神通院医療)支給制度の周知
- 訪問指導

### 計画の進行管理と評価

本計画の実施状況については、毎年PDCAに基づく進行管理・評価を行い、必要に応じて、「曾於市自殺予防対策協議会」等での意見を参考にしながら、計画の推進及び見直し等を行います。



## 曾於市内の相談窓口一覧

相談窓口	電話番号	相談内容
曾於市役所 福祉介護課	0986-76-8807	福祉全般、介護保険等に関する相談
曾於市役所 保健課	0986-76-8806	健康増進等に関する相談
曾於市役所 こども未来課	0986-76-8870	母子保健等に関する相談
曾於市生活相談支援センター	0986-57-1750	生活の中で出てくる様々な悩みに関する相談
そおし健康安心電話	0120-177-282	身体の症状、医療機関等に関する相談
曾於市社会福祉協議会	0986-72-0460	高齢者、家族問題、介護等に関する相談
曾於市社会福祉協議会 権利擁護センター	0986-72-0460	成年後見制度、その他権利擁護に関する相談
曾於市地域包括支援センター	0986-76-8824	介護保険、権利擁護等に関する相談
曾於市消費生活センター	0986-76-8823	債務、詐欺等に関する相談
曾於市教育委員会 学校教育課	0986-76-8872	いじめや不登校等に関する相談
曾於警察署	099-482-0110	DV やストーカー等に関する相談
ハローワーク大隅	099-482-1265	就業に関する相談
曾於地域産業保健センター	099-482-0234	労働者 50 人未満の事業所で勤務する労働者の健康に関する相談

## 鹿児島県内のこころの健康・いのちに関する相談機関

相談窓口	電話番号	相談内容
精神保健福祉センター	099-218-4755	こころの健康づくり、依存症等に関する相談
自殺予防情報センター	099-228-9558	自殺を考えている方、自死遺族の方の相談
志布志保健所	099-472-1021	こころの健康に関する相談
こころの電話	099-228-9566 099-228-9567	精神的不安等、こころの悩みごとに関する相談
鹿児島いのちの電話	099-250-7000	自殺等様々な悩みを抱える方々の相談
鹿児島大学大学院心理臨床相談室	099-285-7208	子ども、人づきあい、家族関係、不安・悩み等に関する相談
志学館大学心理相談センター	099-257-0233	対人関係、家族の問題、障害等に関する相談
鹿児島純心大学大学院心理臨床相談センター	0996-23-5385	家族や対人関係等に関する相談

発行年月 令和7年3月

編集・発行 曾於市 福祉介護課

〒899-8692 鹿児島県曾於市末吉町二之方1980番地

TEL : 0986-76-8807 / FAX : 0986-76-8283